

なぜ、AMDAは世界へ出動する



FAX、インターネットで世界の災害状況をキャッチするAMDAのメンバー

岡山市榴津に本部を置くAMDA(アジア医師連絡協議会)代表・菅波茂)。国際的な人道援助団体として、その名は全世界に知られている。「世界の人々の幸せのため自分たちが求められるなら、どこへでも即座に出掛けていく」と話すAMDA加盟の医師や看護婦、ボランティアたち。これまでにAMDAの救援活動で救われた世界の被災民は数え切れない。「今日もまた世界のどこかで自分たちの救援を待つ人がいるのでは」「そんな気持ちでボランティアに励むAMDAスタッフたち。その姿を浮き彫りにしてみた。

国際貢献パワーおかやまは

アジア医師連絡協議会
AMDAからの報告
シリーズ企画 No.5

どうして、人が人を…

菅波を駆り立てた一枚の戦争写真

ルワンダへ。サハリンへ。民族紛争や自然災害による被災民のいるところへ、自らの生命の保証さえもないところへ飛び込んでいくAMDA救援チームのメンバーたち。そんなAMDAが本格的な緊急救援活動を開始したのは昭和五十九年だった。AMDA発足の動機となったのは代表を務める菅波が高校二年生の夏休みに目にした一枚の写真である。その写真は祖父が大切にしていた『太平洋戦争写

真集』に掲載されていたもので「日本軍の侵攻、米軍の反攻、日本軍の敗走」の三部作には、なんと自分とそれほど年齢が違わないと思われる日本人兵士が海岸の浅瀬に半分顔を突っ込んだ形で死んでいる姿が写されているのではないかと。写真に付随している説明によれば太平洋戦争で日本軍は約五十万人の兵士をアジア地域に派遣し、その多くが戦死したとのこと。写真の兵士はニューギニア島に駐屯して連合軍の上陸阻止作戦に参戦、戦死したのだと。

浜辺での、あまりにも無残な戦死。それにもかかわらず穏やかな表情をたたえたその兵士の顔に菅波は震えをほおびのショックを受け、しばらくは身動きもできなかったという。その時の衝撃を著書『遙かなる夢―国際医療貢献と地域おこし』の中で次のような表現で述懐している。

緊急救援は約40 頑張る職員、ボランティア

菅波のこの考えは当時、医師たちの間で大きな反響を呼ぶとともに協力を申し出る者が随分集まった。今もその数は増えており、四月現在のAMDA加盟会員は約二十九国で医師二百四十八人、一般会員五百五十一人、学生七十四人、賛助会員二百五十六人、法人会員二十七人に。一方、これまでにAMDAが行った緊急救援プロジェクトは「エチオピアチグレ州難民医療支援プロジェクト」「ソマリア

難民救援プロジェクト」など四十件近く(主なもの別表参照)にも上っている。この件数は欧米のNGO(非政府組織)に比べても決して見劣りがしないもの。しかも、それらのうち「カンボジア支援プロジェクト」「モザンビーク掃蕩避難民プロジェクト」「旧ユーゴスラビア援助プロジェクト」など十九件は今も救援活動を続行中なのだ。

…が、それほど活発な救援活動をしているAMDAも本部の職員は決

職員は決

い。スタッフ

十人の非常

の余暇時間

る、曜日日本

ボランティア

のだけ。

ボランティア

くまちまち

方から深夜

かし、前夜

も翌朝には

を見せてい

「あの兵士の死は太平洋戦争全体からすれば多数の戦死者の中の一人だったかも知れない。しかし、私にとっては人の死がこれほど身近に、無残に感じられたことはなく、ただ呆然と立ち尽くすばかり。その時のことで覚えてるのは、ただうろたえているほどに鳴き叫ぶセミの声だけだった。」

「なぜ、人々は同じ人間でありながら憎しみ合い殺し合うのか。」「人はすべて平等に生き、幸せを享受する権利を持つているはず。」「そんなことを考えた菅波は岡山大学医学部に進学する。四年生の夏休みに八カ月

の休暇

た。



[AMDA のこれまでの主な活動]

年月	活 動 の 内 容
1984 12	・ 第1回 AMDAビジネスミーティング開催 (インド、タイ)
1988 12	・ インド連邦カルナタカ州無医地区巡回診療プロジェクト開始
1991 4	・ ネパール王国ピヌヌ村地域医療プロジェクト開始 ・ AMDA国際医療情報センター＝在日外国人医療プロジェクト＝活動開始 (東京) ・ イラン国内クルド難民支援医療プロジェクト開始 ・ ピナツボ火山噴火被災民支援医療プロジェクト開始
1992 3	・ エチオピアチグレ州難民医療支援プロジェクト開始 ・ バングラデシュ・ミャンマー難民支援医療プロジェクト開始
5	・ ネパール国内ブータン難民支援医療プロジェクト開始
7	・ カンボジア本国帰還難民支援医療プロジェクト開始
11	・ タンコット村眼科医療・母子保健プロジェクト開始
1993 1	・ カンボジア精神保健プロジェクト開始 ・ ソマリア難民救援チーム活動開始
7	・ ネパール・バングラデシュ大洪水被災民緊急救援医療プロジェクト開始
9	・ タイ国チェンライ県エイズプロジェクト開始
10	・ インド西部大地震被災民緊急救援リハビリテーションプロジェクト開始
12	・ AMDA国際医療情報センター関西開設
1994 2	・ インドネシア・スマトラ島南部地震救援医療プロジェクト開始 ・ モザンビーク・ガザ州帰還難民緊急救援医療プロジェクト開始
3	・ 旧ユーゴスラビア救援プロジェクト開始
4	・ AMDA東京オフィス開設
5	・ ルワンダ難民・被災民救援プロジェクト開始 ・ ルワンダ国内病院再建プロジェクト開始 ・ JICAフィリピン・ターラック州家族計画・母子保健プロジェクト開始
6	・ ネパールストリートチルドレン巡回診療プロジェクト開始
12	・ ケニアナイロビ地域オフィス開設
1995 1	・ 阪神・淡路大震災緊急救援プロジェクト開始
3	・ JICAザンビア保健医療プロジェクト参加
	・ ロシア・チェチェン緊急医療プロジェクト開始
5	・ 「72時間ネットワーク」設立 ・ ロシア・サハリン大地震緊急救援プロジェクト開始
7	・ スーダン国内避難民救援プロジェクト開始 ・ アンゴラ帰還難民緊急救援プロジェクト開始
9	・ 朝鮮民主主義共和国緊急救援プロジェクト開始
10	・ インドネシア・スマトラ島大震災緊急救援プロジェクト開始 ・ メキシコ大震災緊急救援プロジェクト開始
11	・ フィリピン台風被害緊急救援プロジェクト開始
1996 2	・ 中国・雲南州大震災緊急救援プロジェクト開始 ・ 中国・四川省雪害緊急救援プロジェクト開始 ・ インドネシア・ピアク島大震災緊急救援プロジェクト開始
3	・ 中国・新疆ウイグル自地区地震緊急救援プロジェクト開始

岡山の活動に注目

外務省がセミナー開催

外務省経済協力局民間援助支援室主催の「民・官」国際協力NGOセミナー」が四月十九日、岡山市で開かれた。政府はこれまで民間団体の

NGO（無政府組織）などが行う海外援助事業の支援措置として、もっぱらODA（政府開発援助）の制度を運用してきた。しかし、海外援助事

業の活発化に伴って平成元年に「NGO事業補助金制度」「草の根無償資金協力」の新制度を設立。平成六年度には積極的に業務推進を図るため外務省内に経済協力局民間援助支援室を新設。以後、同室主催で新制度の周知、よりよい運用を図るセミナーを全国で開いている。

岡山市での開催は全国的にも珍しい二回目。外務省によると「岡山はAMDAを中心として地方自治体も海外援助事業を特に活発に行っているため今回の開催になった」とのこと。セミナーでは五月女光弘支援室長が「政府とNGO・地方自治体との連携」について講演。「JICAとNGO・地方自治体との連携」「民間から見た政府とNGO・地方自治体との連携」などの説明とパネルディスカッション、平成八年度事業の展望などの説明が行われ、西日本地区から来場の自治体職員、NGO関係者らが熱心に聴講した。



岡山での開催は全国でも珍しい2回目だ

国際貢献パワーおあ

アジア医師連絡協議会
**AMDAからの
報告**

シリーズ企画 No.5

励ましの声が相次ぐ

私たちも実際に行動を起こそう



この特別企画「国際貢献PAW
—おかやまは動く—AMDA
からの報告」の掲載が始まって
間のない今年一月、山陽新聞社
広告局に一通の手紙が届いた。
手紙の主は就実高校一年(当時)
の瀧村佐織さん—久米郡旭町—
である。

「新聞をパラパラとめくって
いたら目に止まったのがAMDA
の企画でした。『たった五百
七十円あれば栄養失調で死んで
いる子供たちを救うことができる
のに』といった見出しがつい
たその記事にはルワンダの悲惨
な現状が綴られていました。私

はかつて世界史の授業で餓死す
る人の話を聞いたことがありま
す。餓死する人の最後は目の玉
がポロッとこぼれ落ちるのだそ
うです。そのことを思うとルワ
ンダの子供たちがかわいそつで
なりません。

私と同じ生命を受けながら、

食べるものがなくて死んでいく
子供たち。私は将来をどういった

私たちの活動の様子を紹介
して下さる、この企画が
スタートして約四カ月間が
経ちました。みなさんにA
MDAの実
態がどうや
く理解され
るようになったのか、最近
ではボランティアに来て下
さる方が随分増えました。
また、活動資金を振り込ん
で下さる方も増加していま



く、ご援助
下さいませ
ようお願ひ

す。
人道援助大団を旨指して
私たちは一層頑張ります。
これからどうにかよろし
く、ご援助
下さいませ
ようお願ひ
します。
AMDAに関する問い合
わせは☎086・284・
7730またはFAX08
6・284・89259へ。



中国雲南省の地震被災者への救援活動は大変喜ばれた(後ろの文字は感謝の言葉)

人たちの役に立つ勉強ができる
大学へ進むものと思えます。こ
れからもAMDAの記事を詳し
く取り上げて下さい。人と人が
対等に共存できる世界が出来上
がることを祈っています。
金森和雄さん—英田郡美作町
—からもハガキをいただいた。
「AMDAの企画記事には大
きな感動を受けました。現地で
の写真や日記をもとにした記事
はとても分かりやすく、実感が
わいてきます。このシリーズ企
画は曜日を決めて継続して掲載
して下さい。きつと多くの人に
理解されるはずですよ」。

また、中山孝子さん—岡山市
—からは
「昨年からの二年間は阪神・

淡路大震災、地下鉄サリン事件
など暗くて、悲しいニュースは
かりが報道されました。そんな
中でうれしいニュースだったの
が、AMDAの活躍です。阪神
・淡路大震災では被災地に一番
に駆け付けて活躍されました
ね。その姿を頼もしく拝見させ
ていただきました。

岡山ではAMDAを中心に連
合岡山、ライオンスクラブなど
で国際貢献の輪が広がっていま
す。AMDAの皆様の活躍を新
聞などで見るたびに胸が熱くな
ります。自分のことしか考えて
いない私を恥ずかしく思ってい
る一人です。AMDAの皆様、
お体に気をつけてご活躍下さ
い。西のジュネーブ、東のオ
カヤマを旨指して」。

—と激励の言葉が記されてい
た。

そして、岡崎久子さん—岡山
市—は

「岡山の誇りAMDA。AM
DAの目覚ましい活躍を目に
し、耳にするたびに胸が熱くな
る思いが致します。このシリー
ズは我々、人間が人間の在り方
を考え直させてくれる貴重な企
画です。今後も期待しておりま
す。私共もじっと眺めているだ
けではいけないと思います」。

—と提案をしてくれている。

「AMD Aデー」に募金

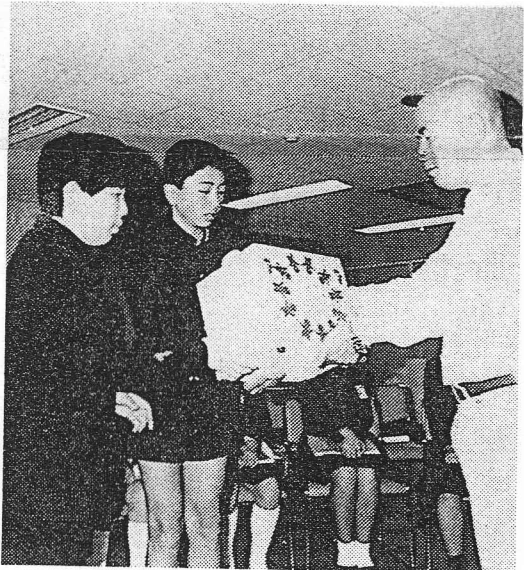
津山CCUP綱引き大会は益金を

支援することになった。

四月五日、ノートルダム清心女子大学付属小の始業式。児童たちが集めた十万円がAMD Aに手渡された。中国雲南省で二月三日発生した大地震(マグニチュード7)の被災者・趙跃跃ちゃん(四)に贈ったもの。趙ちゃんは地震で両親を失った。大火傷を負い、骨折した趙ちゃんは両親の死を知らない。痛みに耐えながら母を呼ぶ趙ちゃん。十万円は専門病院での治療費に使われる。

四月初旬。AMD A本部を京

阪神と首都圏の五人の男女が訪れ、AMD Aの情報を仕入れて帰った。阪神・淡路大震災でボランティア活動の経験を持つ大学生とフリーの青年。女性の二人は教員免許を持ち、シンパブエで青年海外協力隊として活動の経験を持つ。「現地は教科書もなく地面に文字を書いたの授



寄金を手渡す中山小、馬屋下小の代表

業だった。世界の貧しい人々に貢献できればそれが私の生きたい証になる」と語った。

もう一人はAMD Aがネパールの建設の医療技術員養成所のアシスタントになる。

* * *

津山カップ実行委員会(西本初実行委員長)は五月三日、津山市総合体育館で『第三回津山CCUP綱引き大会』を行うが、その益金をAMD Aに寄贈することにした。同実行委は昨年

岡山市の日高奉文さんは六月二十七日、小田郡美星町の中世夢が原で「AMD A活動支援コンサート」を行う。出演アーティストはアフリカン・マエストロのフランシス・ベベイ(カメルーン)ジュスタン・バリ(マダガスカル)アローナ・ニジャエ・ローズ(セネガル)の三人。コンサートの制作費を除いた全額を寄贈することにしてがんばっている。

このシリーズについてのご意見、ご感想を左記へお寄せ下さい。

〒700 岡山市柳町二一
一三三、山陽新聞社広告局「アムタ係」

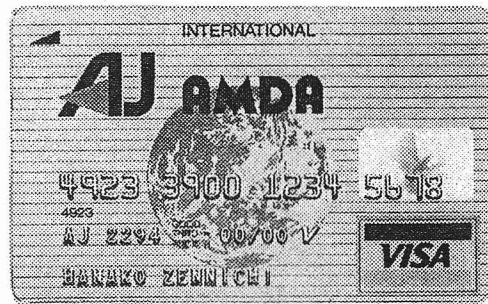
やまは動く

小さな善意が国際貢献。

誰でも持っている小さな善意の結果が大きな力となって初めて国際貢献が実現されます。

1995年1月に発生した阪神淡路大震災は、テクノロジーがいかに発達しようとも今回のような大規模な自然災害に対しては、人間はいかに無力なものであるかを私達にあらためて思い知らしてくれて下さったことでした。しかしながら、一方では、あれほどの被害のなかでパニックも起きず、皆がお互いに助け合い、逆境のなかで人間らしさを失うこともなく振る舞えた姿に深い感銘と感動を覚えたできごとでもありました。私事で恐縮でございますが、弊社も神戸支店が被災して、いろいろな方々のお世話やご支援等を賜り、本当に心強くありがたい気持ちが致しました。弊社もこれまで社会にそれなりに貢献できうる企業活動を実施してきたつもりではありましたが、さまざまな支援活動などを見せていただくにあたりまして、まだまだ不十分なものであったと恥じ入った次第であります。そこで、弊社では、市民の一員としての企業、いわゆる「企業市民」としていったい何が出来るかを遅まきながら検討してまいりました結果、弊社の発行するクレジットカードの売上金の一部をボランティア活動などの援助金として社会に還元させていただくことにしてはどうかということになり、このたび、社会貢献カードとして「AMDAカード」を発行させていただくことになりました。ご周知のとおり、AMDA（アジア医師連絡協議会）は、岡山に本部を置き、世界18ヶ国に支部を持つNGO（民間公益団体）として、日本やアジア各国の医師を始め、職員やボランティア（学生・主婦・社会人）など幅広い層の人たちが活躍しておられ、阪神淡路大震災を始め、世界各地に救援の手を差し伸べておられます。特に、これまでボランティア活動といえば欧米というイメージが強かったなかで、日本人の手によっても立派に成し遂げることが出来るということが証明されましたのはうれしいことでした。また、東京でなければ何事も成し難いというなかで、岡山という地方でも十分やれるということも教えていただき、岡山に拠点を置く弊社と致しましても非常に勇気づけられると共に、地方に安住していた面などは大いに反省させられました。

「西のジュネーブ、東の岡山、AMDAがつなぐ世界の人道援助大国！」と熱い気持ちでがんばっておられるAMDAを地元岡山の皆さま方と一緒に応援していければと思っておりますので、皆さま方の暖かいご支援・ご協力をお願い致します。



■ご利用額の一部を援助金(全額AJにて負担)として
AMDAへ寄付させていただきます。

国際貢献への1枚 AJ AMDA カード 新登場!

お問い合わせ・お申込みは

Tel.086-227-7161

AJ-AMDAカードデスクまで

AJ 全日信販 株式会社
本 社 〒700 岡山市丸の内1丁目1-4